

2階ロビー展示

家康と戦った城・家康を支えた城 ～発掘調査出土品展～

今年の大河ドラマは「どうする家康」。青年期の家康にとって、蒲郡は大変関わりの深い土地でした。

中世期、蒲郡には9つの城が築られました。このうち4つは上ノ郷（神ノ郷町）を本拠とする鵜殿氏の城、3つは家康の一族である松平氏の城で、この地域で両者は拮抗した間柄でした。

鵜殿氏は、家康と同じ今川家の家臣として共に信長と戦い、のちに三河独立を目指す家康に対して、大きな壁として立ちはだかります。一方、蒲郡に配された松平家（竹谷・形原・五井）は、宗家である若き家康の命に忠実に従い、長く徳川家の屋台骨を支え続ける存在となります。

今回は、蒲郡に居を構えた鵜殿、松平の城跡からの発掘出土資料を展示します。

とき 1月7日 土～令和6年3月24日 日
通年展示



昔の遊び

福笑い、すごろく、めんこ、こま、けん玉、野球盤ゲームなど昔なつかしいおもちゃを楽しむコーナーです。親子で遊びにきませんか。

とき 1月7日 土～29日 日
ところ 1階エントランスホール

竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひとりごと



小林 龍二

令和5年はウサギ年ということでウサギに由来する魚を紹介したいと思います。

名前にウサギが入る魚が日本に2種類いて、まずは「ウサギアイナメ」という魚。アイナメは三河湾にいます。美味しい魚ですが、ウサギアイナメは北海道にいる魚です。横顔がウサギに似ているという語源ですが、命名者の視力を疑う級にウサギっぽくは見えない魚です。「ウサギトラギス」という魚もいます。この魚も三河湾には住んでいなくて伊豆の方に住んでいます。こいつはウサギの他にも去年の干支のトラも入っている欲張りな魚ですね。オスの背ビレがピンと立ちウサギの耳のように見えることからこのような名前がつけました。他にも調べてみると中国ではトビハゼのことを海ウサギと呼ぶ、魚へんに兎と書いてイシモチと読む、などがありました。また、アイゴの仲



インド洋のアイゴの仲間、なんまんだ…じゃなくて「アンドンラビットフィッシュ」です。

間は英語でラビットフィッシュと言います。数種類を竹島水族館でも展示しており、これは顔がウサギに似ているからそう呼ばれるようになった魚です。実際に20分くらい眺めていると、へえなるほどなあと思える程度の顔をしています。元気のいい魚なので、勢いが良すぎて水槽の外へ飛び出してしまい死亡した時は、その状態から「ラビットフィッシュが水槽から飛び出して干からびると」と言うのですが、若い職員たちには無視され、年中いつでも1月の寒さが再現されてしまうのでびびるとる次第です。